

「いきものひゃくようばこ」参加者募集要項

1 目的

小学校周辺の自然環境を、生き物観察を通して自然を知ることのできる「いきものひゃくようばこ」として位置づけ、子どもたちが身近にいる生き物の中から自然環境の豊かさや季節の変化がわかる生き物を選び、継続的に観察する。これにより、身近な自然に触れる機会を増やし、自然を大切にすることを育む。

2 主催

福井県自然保護センター

3 観察対象

自然度や季節変化がわかる生き物の中からテーマを決めて、継続的に観察する。

- 自然の豊かさや変化「どんなものが何匹いるかな」・・・カエル、バッタなど
- 季節の変化・温暖化「今年初めてみかけた日はいつ？その日の気温は？」・・・ツバメ、セミ
- 外来生物の分布拡大「外来生物は侵入しているかな？」・・・アメリカザリガニ、セイタカアワダチソウ

4 サポート体制

- 生き物図鑑下敷きプレゼント
- 専用ホームページ
 - 「生き物なんでも質問コーナー（仮）」、「観察結果投稿コーナー（仮）」、「観察ワークシートのダウンロードコーナー（仮）」などを開設
- 希望する小学校に無料で専門家を派遣する「生き物百葉箱ゲストティーチャー制度」
- 観察結果発表会（仮）の開催
- 自然保護普及誌「ナチュラリスト」への掲載と配布
- 結果報告者に特製クリアケースプレゼント

5 申し込み方法

2名以上のグループで、自然保護センターに電話、FAX、メール等により、下記の必要事項を添えて申し込む。クラス単位、学校単位の参加も可能。

- ・グループ名
- ・代表者名（先生のお名前）
- ・参加人数（代表者含む）
- ・学校名
- ・連絡先住所、電話番号、メールアドレス

6 参加費

無料

7 お申込みから結果報告までの流れ

- (1) 参加申し込み
- (2) 自然保護センターから以下のものが届きます
 - ・調査マニュアル（一式）
 - ・生き物百葉箱ゲストティーチャー制度のお知らせ（一式）
 - ・生き物下敷き（参加人数分）
 - ・ワークシート（参加人数分）
- (3) 学校の周辺で調査し、結果をワークシートに記入

生き物の名前が分からない場合は、生き物百葉箱ゲストティーチャー制度を利用していただくか、自然保護センターのホームページから生き物の写真を添えて質問してください

- (4) ワークシートを集めて、学校周辺の地図に生き物情報を記入して、生き物地図を作成
- (5) 調査結果を自然保護センターに報告

自然保護センターのホームページで結果の報告を受け付けます。報告いただいた結果の一部を自然保護普及誌「ナチュラリスト」に掲載する予定です。また、冬期に発表会を開催します。参加方法など詳しくはホームページにて発表します。結果を報告して下さったグループの参加者全員に、生き物百葉箱特製クリアケースをさし上げます。

8 お問い合わせ先

福井県自然保護センター（大野市南六呂師169-11-2）

電話：0779-67-1655 FAX：0779-67-1656

E-mail：100yobako@fncc.jp

担当：平山、水谷